

第5回気候変動適応近畿広域協議会 議事概要

令和3年3月11日（木）14時00分～17時00分

於 TKP心齋橋駅前カンファレンスセンター ホール11A

(+WEB開催)

【議題】

－第1部（一般公開）－

1 挨拶、出席者紹介

(環境省近畿地方環境事務所 所長)

(座長 京都大学防災研究所 教授)

(1) ゲリラ豪雨対策分科会 副座長紹介

－香川大学創造工学部 講師－

2 令和2年度 近畿広域協議会 活動報告、来期の予定について －事務局（近畿地方環境事務所）－

資料1 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業
近畿地域 令和2年度事業報告

3 情報提供

(1) 環境省気候変動適応室からの情報共有

－環境省気候変動適応室－

資料2 気候変動適応策の最新動向

(有識者)

資料2 p. 22 の適応オプションの収集・整理にあたり、今までに実施されたことのある適応オプションや現状の最先端の適応オプションを含めるという話があったが、将来において想定される適応オプションまでを含めて検討するか？

(環境省)

資料2 p. 22 の内容は国民参加事業による事業の内容のため、本事業とは少し異なる。資料2 p. 13 をご覧ください。広域アクションプラン策定事業の全国事業の中で、適応オプション

の取りまとめを行っている。今年度は、地域適応コンソーシアム事業で得られた多くの適応オプションをまず整理している。他の事業や他の研究プロジェクトなどから得られた様々な適応オプションを含めて、これまでの中から最新の適応オプションを収集して取りまとめ、公表できる形を作ることを目指している。

(有識者)

適応オプションは考え方によって様々なものがあり、適応オプションを検討する際に企業や専門分野以外の様々な分野が参加した場合、ある分野では知られていることでもある分野では知らないということがよくあったりする。適応オプションがもう少し幅広く議論されるのであれば、現状や将来の分析にどのように適応オプションを適用していくかということが大事なポイントになると思う。その具体策や方向性を決める手助けとなると思うので、分野を越えて、あるいは企業の方の異なる目線からの考え方も組み入れるような形で適応オプションを議論すると良いと思った。

(環境省)

企業の取り組みで適応に資する技術・サービスなどを提供しているものについては、A-PLAT等でも適応ビジネスとして情報収集をしており、そのようなものも含めて幅広く検討していきたい。

(座長)

お茶に関する気候変動適応の広域連携については、近畿の府県だけでなく、静岡県など様々な茶生産地域と連携するという理解で良いか。

(日本気象協会)

この事業におけるお茶に関する広域連携とは、まず近畿の府県の中での連携を考えている。まず近畿の中で実施するアクションプランを検討した後、日本の他の茶生産地域とも連携できるかどうかを検討していきたいと考えている。

(事務局)

本日は積水化学工業様より適応ビジネスについて発表いただくが、今回はシャープ様に適応ビジネスの発表を依頼している。液晶を冷やす技術に保冷剤が関与しており、シャープでは暑熱対策に関するビジネスを展開している。ぜひご期待ください。

(座長)

本日、東日本大震災発災 10 年となるため、被災された方々への哀悼の意を表するために黙とうを捧げたいと思います。

～黙とう～

(2) 国民参加による気候変動情報収集・分析委託事業の成果報告 について —滋賀県気候変動適応センター、おおさか気候変動適応センター—

資料3 環境省「国民参加による気候変動情報収集・分析委託事業」成果報告
(滋賀県)

資料4 令和2年度国民参加による気候変動情報収集・分析委託事業の成果報告
(おおさか気候変動適応センター)

(有識者)

滋賀県気候変動適応センターとおおさか気候変動適応センターの双方へ質問する。気候変動適応センターで情報収集をする業務は、委託したコンサル会社に取りまとめまで実施したのか、あるいは、気候変動適応センターで情報収集の取りまとめ・データベース化をしてそれをストックしていく体制が出来ているのか？気候変動適応センターの業務として体制を作ることは重要なことと思ひ、質問した。

(滋賀県気候変動適応センター)

情報収集に関しては、滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター・滋賀県琵琶湖環境科学研究センターの3者が連携して実施している。特に滋賀県地球温暖化防止活動推進センターでは熱心に活動している多数の推進員の県民の方をはじめとして様々な人を対象に情報収集し、アカデミックな部分については琵琶湖環境科学研究センターからもアドバイスを受けている。

(おおさか気候変動適応センター)

気候変動適応センターといっても全ての分野の専門家が揃っているわけではないので、様々な専門家の方々の力をお借りしながら情報を収集している。まず農業・漁業については、農業であれば府の農業関係の部署、専門家の方とともに訪問する、水産業においては気候変動適応センターを設置している大阪府立環境農林水産総合研究所の水産分野の研究者とともに訪問する、というような形でヒアリングを実施した。また自然生態系分野については、環境農林水産総合研究所の中にある生物多様性センターと協力することが一つと、もう一つは地元で生き物観察などを行っているNPO法人の方々等との連携によって、情報収集を行ってきた。気候変動適応センターの業務の体制づくりという重要な仕事の中で、専門家の方や地元で活動しているような方々との連携が大事だと実感したところである。

(有識者)

質問した意図としては、情報収集した後にそれらを活用してさらにはデータベースを管理する仕事が必要だと考えている。実施した適応策の効果の度合いを後々評価するとき、データベースが管理されていることがとても重要である。その意味で、気候変動適応センターの業務としてプラットフォームを維持管理する仕事があっても良いと思った。

(座長)

気候変動適応センターは、もともと気候変動適応に関するプラットフォームを維持管理する役割を担っている、という認識で良いか。

(おおさか気候変動適応センター)

地域の中では気候変動適応センターがまず一義的に気候変動適応に関する窓口の役割を担

っており、また国が設置しているプラットフォームとの繋がりもある。

(座長)

国立環境研究所を通し、全国の気候変動適応に関するデータベース等を全国のユーザに届けるという大きなフレームワークは実施されており、情報の種類や連携方法に関する検討も国立環境研究所で進めている。気候変動適応に関する情報収集・解析の体制は府県ごとに工夫して実施していることが先ほどの回答で分かったように思う。

(3) 適応ビジネスの事例紹介

-積水化学工業株式会社-

資料5 適応ビジネスのご紹介

～LIFEの基盤を支え、「未来につづく安心」を創造する製品～

(有識者)

材料の耐質を上げて長期間利用する事例を紹介いただいたが、最終的な廃棄はどのように考えているか？

(積水化学工業株式会社)

特にインフラ関連や本日紹介したクロスウェーブなどに関しては非常に耐久性が高く、長い寿命を持つ製品である。将来的には炭素長期固定も視野に入れ、いまだかつて埋設されて廃棄ということはないが、循環という観点を考えながら今後の製品設計・展開を行っていく必要があると考えている。ライフサイクルアセスメントにおいても、何年影響がなければ炭素固定の部類に入れることができ、どこまで責任を持つ必要があるのかは議論しないと社内で話している。我々のインフラがどこに埋まっているかの管理も視野に入れ、製品を展開・普及させていく必要があると思う。

(座長)

下水管等の施工の技術が発展することも気候変動適応において非常に大事だと思う。先を見越した気候変動適応をする中で、非常に大掛かりな施工を必要とするものはかなり先を見越し、かなり長く使うものとして作っていく必要がある。施工技術が向上することによって、より短期的に更新することができ適応性が増すという良さをもたらすと思っている。

(積水化学工業株式会社)

やはりトレードオフのある解決方法では今後持続していかないと考えているので、様々な課題に悪影響を与えないような形で良い解決方法、より良い変化ができればと、日夜イノベーションに努めていきたいと思っている。

----- 【休憩 10分】 -----

—第2部（非公開）—

- 4 令和2年度 暑熱対策分科会 活動報告、来期の計画について
-日本気象協会関西支社-

資料6 暑熱対策分科会 参考資料（非公開）

- 5 令和2年度 お茶対策分科会 活動報告、来期の計画について
-日本気象協会関西支社-

資料7 お茶対策分科会 参考資料（非公開）

- 6 令和2年度 ゲリラ豪雨対策分科会 活動報告、来期の計画について
-日本気象協会関西支社-

資料8 ゲリラ豪雨対策分科会 参考資料（非公開）

- 7 令和2年度 普及啓発活動実施報告、来期の計画について
-地域計画建築研究所-

資料9 普及啓発 参考資料（非公開）

- 8 意見交換

- 9 閉会挨拶 -環境省気候変動適応室-

配付資料一覧

- ・ 議事次第
- ・ 現地参加者座席表
- ・ 出席者名簿

第1部 公開資料

- ・ 資料1 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業
近畿地域 令和2年度事業報告
- ・ 資料2 気候変動適応策の最新動向
- ・ 資料3 環境省「国民参加による気候変動情報収集・分析委託
事業」成果報告（滋賀県）
- ・ 資料4 令和2年度国民参加による気候変動情報収集・分析委
託事業の成果報告（おおさか気候変動適応センター）
- ・ 資料5 適応ビジネスのご紹介
～LIFEの基盤を支え、「未来につづく安心」を創造する製品～

第2部 非公開資料

- ・ 資料6 暑熱対策分科会 参考資料（非公開）
- ・ 資料7 お茶対策分科会 参考資料（非公開）
- ・ 資料8 ゲリラ豪雨対策分科会 参考資料（非公開）
- ・ 資料9 普及啓発 参考資料（非公開）